

## 知ろう学ぼう人権

### 多文化共生をめざしてアイヌの人権問題について考える



アイヌは、北海道やその周辺地域を中心に長い歴史を持つ民族で、豊かな自然との共生を大切にしながら、独自の文化や言葉、生活を築き上げていました。しかし、次第に彼らの言語や文化は侵害されるようになり、明治時代以降の国による同化政策によって、生活の基盤や独自の文化が失われていくようになりました。そうして、アイヌの人々は、いわれない差別や偏見の中で貧困に苦しめられていくようになりました。

そのような中、2007年に国連によって先住民族の権利を保護する「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択されました。2019年には我が国においても、アイヌの人々が民族として誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図り、全ての国民が相互に人格

と個性を尊重し合いながら共生社会の実現に資することを目的としてアイヌ施策推進法が制定されました。

しかしながら、2023年実施の「北海道アイヌ生活実態調査」によると、言語や文化の継承、所得格差、進学率、就労機会の問題など、アイヌの人々の平等な社会参加を実現するには、いまだ多くの課題が存在していることがわかります。

それぞれの課題解決には、私たち一人ひとりがアイヌの歴史や文化、人権問題について正しく理解することが大切です。

皆さんもこれを機会にアイヌのことについて考えてみませんか。

**問合先** 協働人権課人権推進担当  
(1階④番窓口)

☎9339・1059

(特集)

## 2025大阪・関西万博の魅力に迫る！

大阪・関西万博が令和7年ついに幕を開けます！150以上の国・地域が集う一大イベント！このコーナーでは2025年日本国際博覧会協会の西本敬一さんから万博の魅力を語っていただきます。

### 第8回 世界と未来のグルメ旅行

万博の楽しみで外せないのが、「食」の楽しみです。大阪・関西万博では、世界と未来と地元のグルメを堪能できます。

世界の食では、スイスパビリオンで、スイスチーズなどを使った郷土料理やデザート、チェコパビリオンでは、チェコ料理とチェコビールなど異国情緒あふれる各国料理を楽しむことができます。

未来の食では、「静けさの森」の近くの「未来のすし屋」、約135mの回転レーンを備える回転すし、養殖魚専門料理店などが出店します。

地元の食では、サステナブルフードコートで、『大阪のれんめぐり〜食と祭 EXPO〜』なども出店します。

これらは万博グルメのほんの一部に過ぎません。

▶その他の最新情報はEXPOVisitorsをご確認ください。



スイスパビリオン

©スイス連邦外務省/プレゼンス・スイス



### 西本敬一

平成12年ハノーバー万博日本館で総合プロデュース業務に従事。大規模万博(ハノーバー、愛知、上海、ミラノ、ドバイ)を視察調査。ドバイ万博では現地調査を通じて全192パビリオンを分析。令和4年8月〜日本貿易振興機構(JETRO)から2025年日本国際博覧会協会に outward.

問合先 日本国際博覧会協会総合コンタクトセンター ☎0570・200・066